OCSIA の皆さま

薬学科 6 年の黒田真生です。遅くなりましたが、先日行われました OCSIA 11 月定例会の報告をいたします。

全くの私事ですが、人生初の OCSIA 書記でございます。

◆　2011 年 11 月定例会概要

司会：福安 (医3)、書記：黒田 (薬6)、お菓子：山下 (医3)

◆19 : 30 - 参加者自己紹介＋近況報告

光田 (医5)、山下 (医3)、福安 (医3)、川尻 (医2)、黒田 (薬6)、相原 (医5)、名倉先生 (Ph)、片岡先生 (Dr)、安田先生 (Dr)、佐藤先生 (Dr)、岡崎先生 (Ph)、平本さん (SP)、坂田さん (SP)

◆19 : 49 - 医療面接 (家族面談)

患者 + その家族の合計 4 名を相手に在宅で医療面接の設定。普段の初診その他ではあまりない状況でチャレンジ！

交通整理をするようなつもりの意識で。

◆セッション 1　医療者役：相原さん

本人感想：初めて OCSIA でやりました。家族がいっぱいいるので自分が話しすぎないように注意した。家族の目線でお互いに言いたいことを言えるように意識したけれど、難しかったです。一瞬でも沈黙が生じると焦ってしまった。

FB (オーディエンス)　・初めてとは思えない　・安心して見ていられた　・沈黙が出たときはもう少し待ってもよかったかも？　・時間内に無理に患者の気持ちを変えに行っていない点がよかった

FB (患者家族)　・父がまどろっこしいしゃべり方をしている時も合わせてくれて安心した　・「一年間いろいろありましたね」の言葉で気持ちが流れて行ってしまったのが残念だった　・挨拶がにこやかで好印象

◆セッション 2 医療者役：光田さん

本人感想：家族の思いを一つにまとめられたらと思った。幾つか投げかけをしてみて、多少は変わったかも？でも中途半端で終わってしまった。家族の力学を感じました。

FB (オーディエンス)　・聞きますよ、という姿勢が伝わった　・あいさつで時間を取ったが、そこで信頼関係を築けていた　・あまり山はなかったが傾聴に徹したということでもある　・患者本人の意見を最初に聞いたのが評価できる

FB (患者家族)　・「どうしてリハビリに行けないのか？」をウフッと笑って聞くところが優しくて嬉しかった　・一年間大変だった話のとき一緒に落ち込んでもらってもよかった　・家ではなかなか聞けない父の言葉を聞けました　・普段言えないことを本音でしゃべれたのは、一人ひとりに真剣に向き合っていてくれたからだと思う

◆デモ：安田先生

患者役からのFB：これからポジティブな方向に自分の人生が向かうんじゃないかという希望が持てました。患者に触れることの威力を文字通り身を持って感じました。

医療者役をやってくださった、相原さん、光田さん、そして素晴らしいデモを披露してくださった安田先生、ありがとうございました！

◆21 : 55 - 奈義合宿報告・感想紹介

今年も素晴らしい学びが盛りだくさんの奈義合宿でした！

◆次回定例会概要

司会：光田、書記：相原、お菓子：山下 (でよかったですか？)

以上、長文失礼いたしました。